

# 南丹教育局 NEWS

第 84 号

## 教科大好きプロジェクト 算数・数学実践講座

平成 25 年 11 月 26 日(火)

算数・数学のおもしろさや優れた授業実践を管内の小・中学校へ広く公開し、教員の指導力、指導意欲の向上と授業改善を図ることにより、児童・生徒の学力向上を目指す算数・数学実践講座を実施しました。



南丹市立富本小学校  
梅原伸雄主幹教諭  
による模擬授業

児童に「あれ?」「えっ」「おや?」という思いを膨らませる導入を工夫をする。

導入（教材との出会いの工夫）

ペア学習

自力解決

グループ学習

全体での話し合い活動

まとめ・習熟・振り返り

「数値や条件を変えても同じことがいえるかな?」と問い返してみ、児童の思考を広げたり、深めたりする。

A君が「～と考えたわけはわかるかな?」と他の児童に問いかけてみる。

児童の考えを聞き取り、再現する活動を行う。

聞いて分かったつもりのは、自分で話してみることで考えが深まる。さらに、話してみても分かったつもりのは、書かせてみることでより考えが確かなものになる。

### 受講者の感想

児童が主体的に学ぶためには、児童の思考過程を大切にし、根拠を引き出すことが重要である。さらに、再現活動により学んだことや聞いたことを確認することが大切である。個々の考えを全体での話し合い活動に生かす指導法を工夫していきたい。

小学校の内容であったが、中学校での生徒への教材の提示方法や授業の進め方に活用できることがよく分かった。小学校・中学校とも、考える過程を大切にしなければならない。早速、明日の授業から実践に取り入れていきたい。

教師としての自分は、授業をする側としての見方ばかりであったが、初めて学ぶ側の感覚を大切にすべきだと思った。

模擬授業や演習形式の研修は、子どもや指導者の立場に立って学べるのでよかった。ペア学習で、校種間や地域間等の配慮があり、広く交流を深めることができた。

### 算数科・数学科の授業において大切なポイント

- \* 算数的・数学的活動を十分に取り入れること
- \* 筋道を立てて、説明したりまとめたりする言語活動（グループ学習、ペア学習、ノート指導等）を効果的に位置付けること
- \* 学び直しの時間を意図的に設定し、定着を確実にさせること